



ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

新しい自分との 出会いや発見がきっとある



(ネパール砂川会場)



(ネパール足寄会場)

平成12年度青少年自然体験活動指導者養成講座

平成12年8月17日(木)~9月10日(日)、道立青少年教育施設ネパール足寄、ネパール常呂、ネパール砂川の三会場で、自然体験活動に必要な専門知識と技術を有する指導者養成講座夏季プログラムを実施しました。

また、夏季プログラム修了者90名に修了証書を授与し、自然体験活動指導者として登録しました。

今後、自然体験活動の指導者を求める市町村、団体等のニーズに応え、必要な情報を提供いたします。

目次

平成12年度青少年自然体験活動指導者養成講座.....	1	乗馬を通して自然体験.....	5
特別講演・分科会.....	2	生涯学習実践記録と研究論文募集	
生きがいづくり生涯学習促進事業.....	3	情報の広場	
Webでホームページをつくろう!!		文化交流室事業のご案内.....	6
会員の声.....	4	新会員紹介	
本道での初の市町村生涯学習推進		事務局からのお願い	
アドバイザー等研究協議会の開催!!		編集後記	
講座のご案内			

夏季プログラム日程及び 研修カリキュラムの内容

平成十二年度青少年自然体験活動指導者養成講座の参加者は、各会場において、次の日程の基本型に従い講義・実技・演習二七時間の研修カリキュラムを受講した。

(掲載の写真は、各会場における野外活動の技術及び活動フィールドの理解と研究の受講場面です。)

21世紀の子育て!!

変化する子供達と家庭教育・こどもの教育.....共に考えませんか...!
多くのご参加をお待ちしています。.....

特別講演・分科会

今日の家庭教育の問題は、過保護や育児不安など深刻であり、また登校拒否、非行などの広がりや座視できない状況になっていることから、関連する団体との連携のもとに、記念講演会、分科会、シンポジウムを実施し、非行等の問題行動や心の悩みに直面する子供達の行動をとらして学習し、家庭教育の在り方について考える。

期 日 平成12年11月16日(木) 13:00~
会 場 道民活動センター(かでる2・7)札幌市中央区北2条西7丁目
共 催 (財)北海道生涯学習協会、北海道PTA連合会
(社)日本ガールスカウト日本連盟北海道支部
(社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター
後 援 北海道教育委員会、北海道新聞社、NHK札幌放送局
HBC北海道放送、(財)北海道教職員厚生会

記念講演...演題「今、親子の確かな手ごたえを」13:00~ (一階大ホール)
~子育ては親育ち~

講師 札幌学院大学人文学部 徳田 仁子 助教授

分科会 (14:30~16:00)

- ・第一分科会...「心豊かで、たくましい子ども達を家庭
教育でどう育てるか(特別研修室)
 - ・第二分科会...「生きる力を育むために」 (大会議室)
 - ・第三分科会...「家庭生活の中のジェンダー」 (特別会議室)
- その他
・参加申込又は照会は財団法人北海道生涯学習協会にお願いします。

研修カリキュラム

講 習 内 容	区 分	時 数
野 外 教 育 の 概 論	講 義	1.5
青 少 年 と 学 校 外 活 動	講 義	1.5
野外教育プログラムの企画と立案	講義・演習	5.0
活動フィールドの理解と研究	講 義	3.0
野外教育における安全管理	講 義	2.0
体 験 学 習 法	実 技	4.0
野 外 活 動 の 技 術	実 技	10.0
研 修 時 間 数 の 合 計		27.0

平成12年度青少年自然体験活動指導者養成事業講座日程

日 時	1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目
8:00		朝食	朝食	朝食
9:00		講義 「野外教育における安全管理」 (事前チェックと実施中の安全管理等) (1.0) 少年自然の家指導員 講義と演習 「野外教育プログラムの企画と立案」(プログラムの企画とは) (2.0) 野外教育専任講師	実技 「野外活動の技術」 (野外活動の実際) (3.0) 野外教育専任講師	講義 「青少年と学校外活動(1.5)」 教育庁生涯学習部社会教育課指導班
10:30				講義 「野外教育における安全管理」 (救急法(1.0)) 地元消防署 閉会式
12:00		昼食	昼食	昼食
13:00	開会式 オリエンテーション	実技 「野外活動の技術」 (野外活動におけるマネジメント(4.0)) 野外教育専任講師	講義と演習 「野外教育プログラムの企画と立案」 (野外活動の教材化、プログラムの評価手法(3.0)) 野外教育専任講師	
13:30	講義 「野外教育の概論」 (1.5) 大学教授			
15:00	実技 「体験学習法」 (体験学習法とは) (2.0) 教育局社会教育指導班			
16:00			講義 「活動フィールドの理解と研究」 (地域資源の見方と活用) (1.0) 野外教育専任講師	
17:00	夕食	(野炊)	夕食	
18:00	実技 「体験学習法」 (体験学習法の活用) (2.0) 教育局社会教育指導班	実技 「野外活動の技術」 (野外活動の実際) (3.0) 野外教育専任講師	講義「活動フィールドの理解と研究」 (人的資源の活用とネットワーク、地域風土と自然環境) (2.0) 野外教育専任講師	
19:30				
20:00				
21:00	施設泊	テント泊	施設泊	



(ネパール足寄会場)



(ネパール常呂会場)

乗馬を通して自然体験



銚路管内・浜中町 森 義雄

この八月末に、この地域の小中学生とその親の二五名が参加して乗馬体験を行った。その乗馬コースは、馬主と飼い馬とが一体になって、自然のままの雑木林の中を切り開いたもの。一人二十分位の体験であったが、乗り終えた子ども達のどの顔も満足そうであった。

浜中町の霧多布湿原や太平洋の海沿いの景観は、「自然王国浜中町」にふさわしい。その海岸には広大な丘陵地が競り出ている。この丘陵地こそが、酪農の恵みをもたらす大地

である。私が今住む所は、その大地の一角に開けた市街地である。ここは、戦前、軍馬の生産地であった。戦後も、農耕馬として沢山の道産子が飼われていた。近くには、畑正憲さんが築かれ、今も引き継がれている「ムツゴロウ王国」がある。当時、ムツゴロウさんは、浜中の海岸で草競馬ならぬ砂競馬を盛んに行っていた。更に、四、五年前までは、この市街地にある競馬場でも毎年草競馬やばんば競走が開催されていた。今もこの市街地の四、五カ所では馬が

生涯学習実践記録と研究論文募集

当協会は、本年度も生涯学習の推進方策等についての研究・実践あるいは論文記録を募集し、入選作品を発表する生涯学習実践記録と研究論文募集を実施します。なお第一回論文委員会を次のとおり開催します。

記

- 一 日時 平成十二年十月二十日(金)
一〇:〇〇~一一:〇〇
- 二 会場 赤レンガ庁舎一階八号会議室
- 三 協議事項 (一)生涯学習実践記録と研究論文

の募集要項の作成について

(一)その他

四 論文委員会委員

高倉 嗣昌(北海学園大学教授)

古崎 和代

(札幌国際大学短期大学部教授)

前田 政男 (元喜茂別町長)

梶井 祥子

(財団法人北海道生涯学習協会評議員)

山下 敬一

(北海道教育庁生涯学習部社会教育課主幹)

募集要項配布予定

平成十二年十一月月上旬

募集締切予定

平成十三年一月下旬

情報の広場



「ご存じですか？」

「国際音楽の日」

飼われている。その馬主の一人が、二年前に乗馬体験、ホーストレッキングのための牧場をオープンした。今回、子ども達が乗馬体験ができたのもこの方の全面協力による。身近に馬がいても、豊かな自然が開けて

いても、子ども達がそれを直接肌身に触れなければ、自然と親しんだことにはならない。この程六名の馬主が集まって「浜中乗馬愛好会」を結成した。地域住民による草競馬再開の日も近いものと思われる。

これは、一九七五年にカナダでユネスコ NGOである国際音楽評議会(IMC)が行った最初の世界音楽週間で、当時のIMC会長のユーディ・メニューイン氏が紛争の絶えない世界を憂い、十月一日を「国際音楽の日」と定め、『世界の全ての人々が、自分の敵や反対者をも助け合い憎しみをきよくだいの愛に変えるよう努める日とし、あらゆる国や地域の人々が様々な音楽的表現を通して、暮らしの中の音楽の素晴らしさを認識する機会を与えられるようにしよう』と呼び掛けたことに始まり

二年後の一九七七年にチェコのブラチスラバで開催されたIMCの総会において正式に十月一日を「国際音楽の日」と定め、翌年から趣旨に賛同する世界の国々で記念事業等が開催されております。我が国では、一九九四年(平成六年)十一月二十五日に「音楽文化の振興のための学習整備等に関する法律」が制定され、第一条の目的では『音楽文化が明るく豊かな国民生活の形成並びに国際相互理解及び国際文化交流の促進に大きく資することにかんがみ、生涯学習の一環としての音楽学習に係る環境の整備に関する施策の基本等について定めることにより音楽文化の振興を図ること』とし、第七条において十月一日を「国際音楽の日」と定めたものです。

文化交流室事業のご案内

七月から九月までに、実施しました文化交流室展と講演会の内容について御紹介致します。

【七月展示会】

造景美術紫山会札幌支部
造景美術紫山流
『自然美を生かすミレニウム記念展』

盤景、浮彫画、砥石画の三部門からなり、自然の中に偏在する美しさをより一層美しく形作り、狭い空間の中に調和、迫力、美感をもたらず世界を再現した造景美術について御紹介致しました。



【八月展示会】

木古内町教育委員会
『寒中みそぎの里・木古内町』
それは天保二年に始まった。厳寒の海に燃ゆる若者たちの祈り

毎年一月十五日に、厳寒の津軽海峡に面したみそぎ浜で行われる、全国的に有名な「寒中みそぎ祭り」の様子や町内から出土した埋蔵文化財や特産品などを展示し、写真パネルや実物で御紹介致しました。



【九月展示会】

北海道趣墨会
『第一回 俳画絵全道公募展』
墨絵・絵手紙

《九月二日(土)～二十九日(金)》
一九八四年に結成され、現在の会員数は四十七名、賛助会員を含めると一六〇名で、主に札幌、恵庭、西胆振を中心に活動をしている団体です。この展示会では、全道から公募した俳画等・水墨画・墨彩・絵手紙スタイル)作品を始め、会員や賛助会

員による作品も御紹介致しました。



【講演会】

北を拓く文化講演シリーズ
第二回目「七月十三日(木)」
講師 ジャズシンガー 黒岩 静枝

北海道から発信するジャズを中心とした音楽活動の取り組みや、子どもたちが参加するボランティア活動など、体験に基づく内容は、参加者に多くの感銘を与えました。

第三回目「九月十四日(木)」
講師 北の企画室室長 倉増 充啓
自然の営みは音楽文化として、人間との共生を図っていることや、自然との付き合い方など、自身の体験に基づく内容は、参加者に多くの感銘を与えました。



新会員紹介

次の方々が新たに賛助会員になりました。今後ともよろしく御願致します。

個人会員

- 酒向 憲司 (札幌市)
 - 横山 健彦 (札幌市)
 - 松田 光院 (札幌市)
 - 宮原 英雄 (札幌市)
 - 藤谷 剛教 (札幌市)
 - 深澤 正 (札幌市)
- (敬称は略させていただきます。)

事務局からのお願い

- ・会費納入について：諸事出費の多い時節から、誠に恐縮ですが賛助会費納入についてご協力をお願いします。
- ・住所変更について：会員の皆様で住所変更、訂正のある方は事務局までお知らせ下さい。

編集後記

暑かった夏も過ぎ、「かである」から見える山々も色づく季節となってきましたが、秋は収穫の季節とともに、芸術やスポーツ、そして学びの季節でもあります。

当協会の事業も皆様のご支援の陰で、各地域で大きな成果を収め順調に推移しております。

今後とも皆様のご支援をよろしく願致します。